

調査団体名	日本シデコブシを守る会	団体代表者名	糸魚川淳二
活動地域	東海地方	団体URL	なし

<活動内容>

岐阜県瑞浪市でトヨタ自動車によるゴルフ場開発に伴う湿地破壊に対して、シデコブシの保存を訴えるのをきっかけに、1991年に日本シデコブシの会を立ち上げた。

基本的な活動は、加盟する各地域の組織が行っているが、地域の調査・保全活動の支援や会報の発行、加盟団体の交流を兼ねた総会の開催などを行っている。

<連携している団体・専門家・自治体など>

日本シデコブシを守る会には、以下の団体が加盟し、連携して活動している。

- | | | |
|------------------|-----------------------|-----------------|
| 1) 福岡シデコブシの会 | 2) 岩村シデコブシを守る会 | 3) 中津川シデコブシを守る会 |
| 4) 恵那シデコブシ保存会 | 5) 瑞浪市シデコブシを守る会 | 6) みどりの会 |
| 7) 関シデコブシを守る会 | | |
| 8) 各務原市シデコブシを守る会 | 9) 渥美自然の会 | 10) 三泗自然に親しむ会 |
| 11)瀬戸自然の会 | 12)シデコブシと自然が好きな会(土岐市) | |

<今まで行った調査・研究>

○シデコブシの分布調査を行い、「シデコブシの自生地」(1996年3月発行:定価2,000円)を発行している。

○恵那テクノパーク開発の際には、現地調査を地元の恵那シデコブシ保存会と共に行った。

○国や県、市の天然記念物指定の際は、現地調査とともにコメントを発表した。

<現在直面している課題>

会員の高齢化を心配している。後継者育成が課題である。

岐阜県瑞浪市竜吟湖周辺での自動車レース場開発により湿地環境が破壊されるなど、各地で湿地の破壊が続いている。

<今後どんな情報が必要か>

開発関係の情報は、計画が決まってから公表されることが多く、保全の手立ての提案ができる場合が多い。
開発に関わる情報は、早い段階から公表してほしい。



岐阜県中津川市でのシデコブシ観察会参加の会員たち